

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年 5 月14日
【会社名】	株式会社ヴィア・ホールディングス
【英訳名】	VIA Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 楠元 健一郎
【本店の所在の場所】	東京都新宿区早稲田鶴巻町519
【電話番号】	03-5155-6801（代表）
【事務連絡者氏名】	常務執行役員 経営推進本部長 羽根 英臣
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区早稲田鶴巻町519
【電話番号】	03-5155-6801（代表）
【事務連絡者氏名】	常務執行役員 経営推進本部長 羽根 英臣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社4社に対する貸付金について貸倒引当金を積むことを決議いたしました。また、当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第11号及び19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 取立不能又は取立遅延債権のおそれ

(1) 当該事象の発生年月日

2025年5月13日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社である株式会社扇屋東日本、株式会社一丁、株式会社一源、株式会社紅とんの財政状態を勘案し、貸付金に対する関係会社貸倒引当金繰入額を特別損失として計上いたしました。なお、本関係会社貸倒引当金繰入額は連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3) 当該事実が当社の事業に及ぼす影響

（特別損失）

関係会社貸倒引当金繰入額	217百万円
--------------	--------

2. 連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象

(1) 当該事象の発生年月日

2025年5月13日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

2025年3月期第4四半期連結会計期間において、既存店の収益拡大のためのリニューアルを実施し、これらに伴う固定資産除却損を特別損失として計上いたしました。また、契約期間の満了又は不採算であった10店舗について閉店を決定いたしました。加えて、将来キャッシュ・フローによる設備投資額の回収が困難と見込まれた店舗につき、固定資産の減損を実施したこと等により、店舗に係る減損損失を含め、特別損失として計上いたしました。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響

（特別損失）

減損損失	92百万円
固定資産除却損	14百万円
店舗閉鎖閉鎖損失	11百万円
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7百万円